

「きょうちゃん」からの手紙



平成 13 年



皆さん、はじめまして

私は ^{かじかわきょうすけ}「梶川京祐」です。

「きょうちゃん」と呼ばれています。佐賀大学文化教育学部附属養護学校の小学1年生です。1年生としては標準の体格です。

「きょうちゃん」の親よりご挨拶

私たちは、「きょうちゃん」の付属養護学校入学のため、武雄市より川副町に引っ越してまいりました。彼は、生まれつき脳に障害がありまして、特別な教育を受ける必要があるからでした。

川副町に来てからも一度行方不明になり、警察のお世話にもなりました。



パトカーも出動して、ご近所の方にも大変ご迷惑をおかけしました。

探すのにご協力いただきまして、感謝しております。

ちょっと見ただけでは、脳に障害があるのが分かりませんが、

いまだに言葉がありません。行方不明になったり、皆さんから見れば不思議な行動をとったりします。お金の感覚もまだ分かりませんので、お店に勝手に入って行ってアイスクリームを取ろうとします。人のものを取ったり、道の真中を歩くのは社会の決まりを守らないことになりまして、とても危険なことです。ひとつひとつ教えています。

世間で「知恵遅れ」と言う表現をしますが、「きょうちゃん」のような人は「知恵遅れ」よりも重症の「自閉症」といいます。「自閉症」というと精神に障害があると思われているふしがありますが、そうではなくて

生まれつきの脳の障害です。大体 700 人にひとり出現しています。4 対 1 の割合で男の子に多いという特徴があります。「きょうちゃん」は 6 才ですが知能指数は 1 才に満たないところが多くあります。大人になっても 3 才程度の知能指数に届かない人も多いものです。

そういう風ですので、「きょうちゃん」を育てていくのは大変で、とても親だけで育てるのは至難の技です。

「きょうちゃん」はラ・ポールに買い物に行くのが楽しみようです。

ですが、つれて帰るのが大変です。時には引きずって、またおんぶして帰ります。人様から見れば親から虐待にあっているのでは？と勘違いされるほど大声で泣いたりします。

川副町で、裸足かシャツを脱いだ男の子で、ふらふらまたはぶつぶつ独り言のような言葉を発して、声をかけても振り向かず、名前を聞いても答えず、人の目を見ず、虫刺されのあとがいっぱいある子供は間違いなく迷子の「きょうちゃん」です。

どうぞ見かけられましたら、保護していただくか、警察に通報していただきますよう、何卒よろしく願い申し上げます。

お伺いしてご挨拶申し上げるべきですが、手紙での発信をお許してください。

「きょうちゃん」のひみつ日記 

<http://www4.ocn.ne.jp/~kyousuke/>

E-mail info@nature21.net



佐賀郡川副町南里 1971-10

梶川 京祐 (B型)

保護者 梶川 泰弘・ゆり子

0952-45-7700

携帯 09013676287